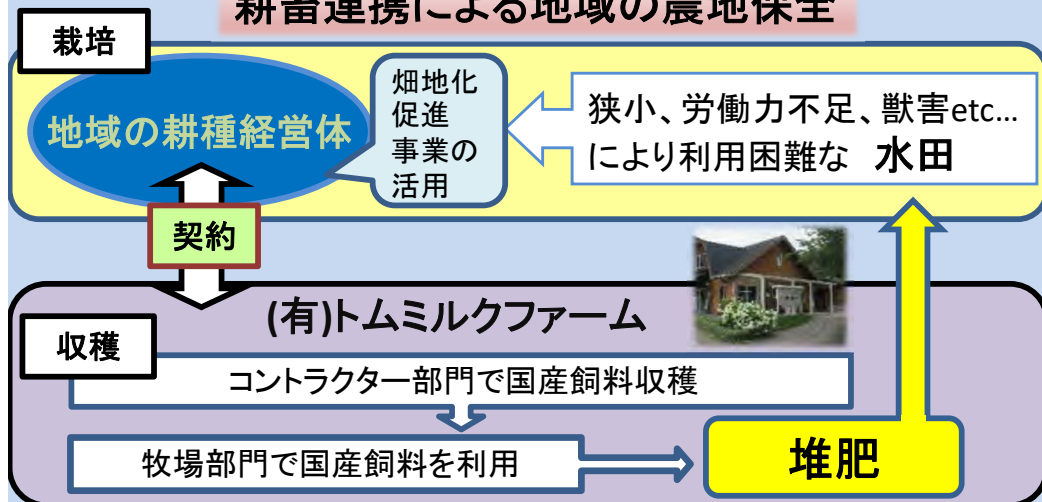


【酪農】（広島県東広島市（有限会社 トムミルクファーム））

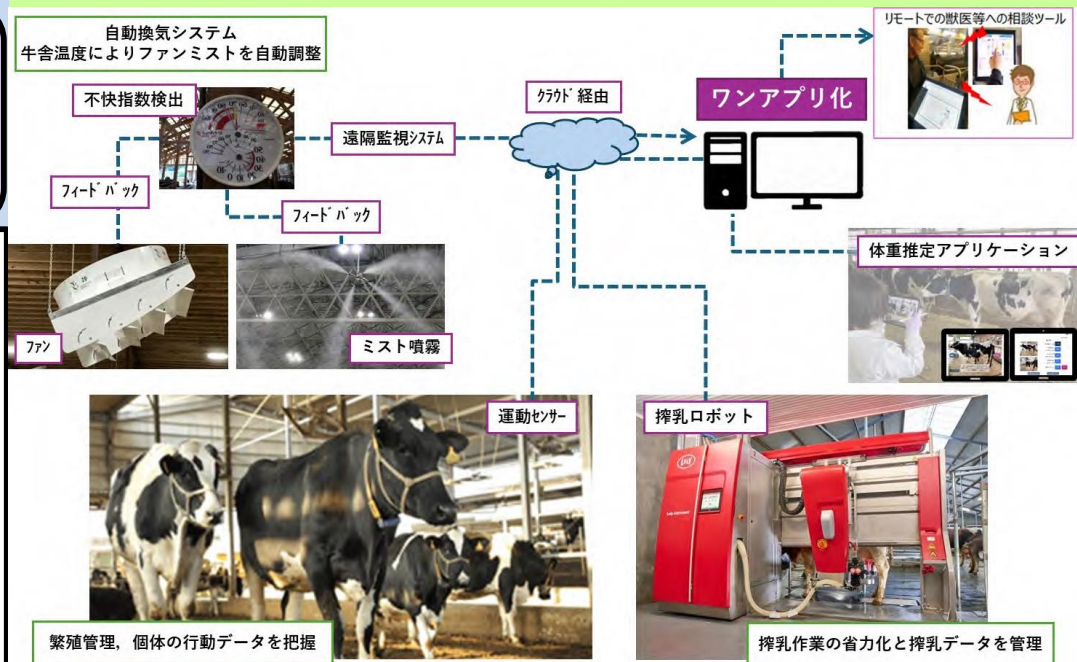
- 有限会社トムミルクファームは、昭和25年に子牛を導入し、水稻・畑作・酪農を合わせた複合型農業を始め、そこから徐々に酪農の専業へ転換。
- 平成8年にはフリーバーン方式の牛舎を建設し、法人化。平成19年には従来のアブレストパーラーをヘリンボーンパーラーに変更し、令和4年には、楽酪GO事業を活用したロボット搾乳機の導入により、労働力の省力化を実現。
- 令和4年度から「ひろしま型スマート農業推進事業」における、乳量予測モデルの実用化（R8年度）に向けて、実証フィールドとして技術検証を実施しており、先進技術の積極的な取組により県内の酪農におけるスマート技術の発展に尽力。
- 国産飼料生産においても、地域の集落法人や耕種経営体と耕畜連携による WCS 用イネの生産・利用体系の構築や、栽培が困難な耕作不適地（水田）の利用等により農地保全と地域振興に貢献。その取り組みが高く評価され、令和6年度第11回全国自給飼料コンクールにおいて農林水産大臣賞を受賞。

耕畜連携による地域の農地保全



乳量予測モデルの実用化に向けた実証プロジェクト

○場内に設置された各種スマート機器の管理システムを企業間連携により一元的に管理できるプラットフォームとして開発し、乳量予測を行うとともに、疾病等の早期発見とそれに基づく対策を講じることで、乳量や乳脂率低下防止を目指す。



○有限会社トムミルクファーム

- ・従業員（酪農部門）： 常時従事者5名（うち役員1名）、臨時雇用2名
- ・事業内容： 酪農業、園芸、乳製品製造販売、飲食店経営、乳処理業、WCS・牧草の収穫の請負、ガソリンスタンド経営（過疎地域の需要に対応し、地域貢献のため）
- ・飼養頭数： 乳用牛205頭（うち経産牛145頭、育成牛60頭）
- ・生乳生産量： 約1500トン（R6年）
- ・自給飼料： WCS用稲（38ha）、牧草（23ha（イタリアンライグラス16ha、その他7ha））

※令和7年4月1日現在



繁殖管理、個体の行動データを把握

搾乳作業の省力化と搾乳データを管理